

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第6回 相模原市教育振興計画策定委員会			
事務局 (担当課)	教育局教育総務室 電話042-769-8280(直通)			
開催日時	令和元年8月22日(木) 午前10時00分から午後0時30分まで			
開催場所	ソレイユさがみ セミナールーム1			
出席者	委員等	15人(別紙のとおり)		
	事務局	30人(教育局長他29人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数
				0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	議題 1 開会 2 目指す人間像について 3 成果指標・施策・主な取組について 4 その他 5 閉会			

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員長、 は委員等、 は事務局の発言)

1 開会

2 目指す人間像について

目指す人間像については、これまで様々な御意見を頂いた。追加したい御意見があれば伺いたい。(特に意見なし)

では、現在お示ししているもので最終案としたい。

3 成果指標・施策・主な取組について

【全体】

成果指標について、施策や主な取組とのつながりをわかりやすくして欲しい。

特にアンケートで成果指標を測定する場合、目標値はどのように設定するのか。

本年度中にアンケートを実施して現状値を測定する予定であり、これを踏まえて設定する。

施策や主な取組の内容は良いが、重複が多く、まとまりがわかりづらいため整理してほしい。

成果指標については、どのように進行管理していくのか。

法律上、教育委員会は所管する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の御意見を伺いながら、点検及び評価を毎年行うことになっており、現計画でもこの仕組みにより進行管理をしている。今後もこの方法で行うことを考えている。

施策や主な取組について、網羅的に記載されているが、重点的に取り組むことに絞り込み記載してはどうか。学校現場も全てのことに注力するのは難しいように思う。

計画で使用する文言については、全体的に整理してほしい。

【基本方針1 未来を切り拓く^{ひら}力の育成】

学校教育では、知力の充実、論理的思考力や問題解決能力の育成などが重要だが、そういった基本的なところへの言及が少ないように思う。

学習指導要領上の資質能力の育成に包括されている考え方ではあるが、見えるように工夫したい。

施策の順番だが、確かな学力や豊かな心の育成などを押さえた上で、キャリア教育に言及すべきではないか。

確かな学力なども当然大切であるが、本市の児童生徒の現状を踏まえると、そもそもなぜ学ぶのか、自分がどうしたいのかを理解し、エネルギーを持って学びに向かう力を育むことが急務であり、これを実現するための教育がキャリア教育だと考えている。

学校関係者であれば別だが、キャリア教育が職業教育や職場体験活動と同義だと誤解されやすい、市民にわかりやすく表現し、具体的なイメージを持ってもらえるようにする必要がある。

成果指標の1番目には、自己肯定感に関することが設定されているが、学校教育だけで育むものではないと思う。学校教育の成果を直接測定する成果指標を設定することはできないか。

成果指標は小学校第5学年と中学校第2学年に対してアンケートを実施することで測定するとのことだが、学年を固定するのではなく、同じ子どもに対して実施してはどうか。

【基本方針2 次世代に活躍できる力の育成】

基本方針のタイトルに「次世代」とあるが、違和感があるため再考してほしい。

基本方針の説明文に「他国の文化理解を深め」とあるが、「他国の歴史」を理解することも重要だ。

成果指標について、文化理解やコミュニケーション能力に関するものを設定してはどうか。

【基本方針3 共生社会の実現に向けた取組の推進】

「インクルージョン」という表現が削除されており、誰をも包み込むという意味合いが伝わりづらいように思う。

「インクルージョン」に代えて追加された「共生社会」の方がわかりやすくて良い。

両者はほぼ同義であるため、わかりやすい「共生社会」という表現でよいと思うが、基本方針全体で、誰をも包み込み共に学ぶという意味合いが感じられると良い。

基本方針の説明文に「多様性を尊重する心を育成する」とあるが、子どもの生命に関わる事案が増加していることを踏まえると、多様性だけでなく生命と人権を尊重することにも言及してはどうか。

【基本方針5 生涯にわたるスポーツ活動の支援】

施策2について、障害のある人と障害のない人が、共通のルールで一緒に楽しむことができるスポーツ活動が大切だと考えており、こうした活動の普及啓発に取り組んではどうか。また、相模原市には障害者体育施設があるが、もっと活用されるように宣伝してはどうか。

施策3について、最近eスポーツが普及してきている中、通常のスポーツが苦手な子どもでも活躍できる可能性があるため追加を検討してはどうか。

【基本方針6 子どもたちの成長を支える取組の推進】

成果指標の2番目について、公民館が主体となった活動実績を対象としているが、子どもの居場所づくりは公民館以外の団体等の活動の方が多くを占めているように思うため、当該団体等も対象としてはどうか。

施策1について、「学校運営協議会の導入」とあるが、地域と学校の連携が進む中で形になっていくものであり、「導入」を前提としないことに留意してほしい。

生涯学習・社会教育分野も学校をサポートすることで、教員の負担軽減につながると良いと思う。

【基本方針 7 地域の学びを通じた絆づくり・地域づくりの促進】

成果指標の1番目について、「新たに携わった市民の人数」を対象としているが、客観的に測定することが難しいように思う。

【基本方針 8 家庭を支える取組の推進】

保護者支援は、教員の負担軽減にもつながるため重要であり、普及啓発だけではなく、もっと積極的な取組ができると良い。

基本方針3の施策4に記載しているが、スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉・医療分野と連携した重層的な支援体制を構築することは重要だと考えている。

学校・家庭・地域のネットワークづくりは重要だが、踏み込んだ支援を行うためには、子どもの個人情報に関する課題をクリアする必要がある。

【基本方針 10 学校教育環境の充実】

相模原市の豊かな自然環境も学校教育環境のひとつであるように思うため、言及してはどうか。

【基本方針 11 学校安全の推進】

施策1について、大人による「安全の確保」だけではなく、子どもへの教育も重要だ。施策1について、防災教育の実施を明示してはどうか。

4 その他

昨年度実施した子どもアンケートの結果を踏まえ、子どもの意見を直接ヒアリングした。聞き取った意見も施策に反映していきたいと考えている。

5 閉会

以 上

相模原市教育振興計画策定委員会委員等 出欠席名簿

(令和元年8月22日開催)

	氏名	所属等	出欠席	備考
1	飯島 沙織	特定非営利活動法人相模原ライズ・アスリート・クラブ クラブマネージャー	出席	
2	内野 智之	神奈川県立津久井養護学校 校長	欠席	
3	大貫 勲	相模原市立大沢公民館 館長	出席	
4	大貫 君夫	相模原市民生委員児童委員協議会 副会長	出席	
5	後藤 直樹	神奈川県立麻溝台高等学校 校長	出席	
6	小橋 隆司	株式会社デスケル 代表取締役	出席	
7	酒井 朗	上智大学 教授	出席	委員長
8	佐藤 敦子	公募	出席	
9	佐藤 毅彦	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 教授	欠席	
10	中里 浩章	相模原市立小中学校PTA連絡協議会 会長	出席	
11	永保 貴章	一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会 副会長	出席	
12	西出 利一	公募	出席	
13	秦野 玲子	RE Learning 代表	出席	副委員長
14	原田 康子	公募	出席	
15	藤井 智	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク 常務理事	欠席	
16	星山 麻木	明星大学 教授	欠席	
17	若林 由美	相模原市立小中学校PTA連絡協議会 サポーター	出席	

【関係者】

18	渡邊 仁	相模原市立東林小学校 校長	出席	
19	守屋 和幸	相模原市立北相中学校 校長	出席	